

## 第1回 西区まちづくり懇話会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和元年（2019年）7月8日（月）午後7時～午後9時
- 2 場 所 西区役所 3階 健康センターホール
- 3 出席委員（14名）  
谷川委員、山内委員、木戸委員、河田委員、坂口委員、浦本委員、日下部委員、  
今井委員、小林委員、豊田委員、西委員、高智穂委員、清田委員、西村委員
- 4 議事要旨
  - (1) 開 会
  - (2) 委嘱状交付
  - (3) 西区長 挨拶
  - (4) 会長・副会長選任
    - ・会長選出については、崇城大学総合教育センター教授 今井亮佑氏を推薦  
異議なし
    - ・副会長については、東海大学観光ビジネス学科教授 小林寛子氏を推薦  
異議なし
    - ・会長、副会長挨拶
  - (5) 委員自己紹介
  - (6) 職員紹介
  - (7) 議 事

### ①令和元年度（2019年度）まちづくり推進経費について

<総務企画課副課長> 資料に基づき説明。

### ②西区健康まちづくり事業について

<保健子ども課長> 資料に基づき説明。

<今井会長> まちづくり推進経費、健康まちづくりについて積極的な意見や質問はないか。

<小林副会長> 東海大学の10月19日開催のイベント、オレンジカクテルナイトのパンフレットを配布した。今まで地域の方々と4回、いろんな形でやってきたが、3つのグループに分かれると思う。①すごく頑張って積極的に参加する自治会を中心とする方、②遠巻きにいて直接手を貸すのではなく、動きを見ながら参加する方、③参加したことがない方。地域づくりの要は、その③の参加したことがない方たちをいかに輪の中に引き込むかだと思っている。毎年、大学と実行委員会をつくってなんとかその輪を広げようという活動をやっている。昨年、好評だったジャム作りを、今年は少し大掛かりにやる。西区の地域全体の活性化に繋がると思うので、近くの方お誘いあわせの上ご参加頂

きたい。今年は1部・2部構成になっている。年齢層を分けて1部はファミリー向け、2部は、大人の方にお洒落な空間で、オレンジで作ったカクテル楽しみながらすこしゆったりとした時間を楽しんでいただけたらと思っている。

それと、販売場所や、景色のきれいな場所でお茶を飲むような場所がないので移動式の軽トラカフェを今、作成中。地域の産物であるみかんやなしの販売、地域でみかんやなしやゆずを使ってパイを作っておられる方がいらっしゃるの、販売しながらコーヒーやみかんジュースを提供するというので7月21日に東海大学のオープンキャンパスで正式にお披露目をする。熊日新聞で紹介していただけるので、見ていただきたい。

<今井会長> 今のオレンジカクテルナイトの話も含めて何か意見や質問はないか。

<浦本委員> 今の話すごく興味があるが、周知というのはホームページとかではなく、チラシが西区全体に配布されるのか。

<小林副会長> Facebook、市政だよりや新聞、KAB などメディアで告知をする。この企画は熊本駅から近くにこんないいところがあるにもかかわらず、若者たちがほとんど知らない。Facebook、インスタグラム、SNS でどれくらい発信できるかやり始めた。どんどん輪が広がってメディアへの情報発信もしている。チラシにQRコードを載せているので、そこからFacebookとかインスタグラムとかTwitterなどの様々なところに繋がる仕掛けになっている。若い方にぜひ情報拡散してもらえたらと思っている。

<浦本委員> 大学側が全面的バックアップしているというのは、地域の方々にとってはとても力強い。例えば、城西校区には石神山公園という広い場所がある。そこに他の地域の人が、特色があるものを持ってきて毎年どこかの地域で行う。西区には、熊本西高校と千原台高校がある。千原台高校には600名の生徒がいる。500名ほどの生徒が、ボランティアに登録して西区フェスタでも2校の生徒たちが活躍した。西区各地域単位ではなく、西区全体で行き来ができるようなまちづくりを行ってほしいと思っている。

<谷川委員> オレンジカクテルナイトの送迎の件で、市役所と会場の送迎だけで途中下車はないのか。

<小林副会長> 場所があまり使えるところがなく、今までは上熊本駅でピックアップがあったが、市役所が割と足場がいいということで決めた。ここに集まるのが不便ということであれば、東海大学からということも可能。1部はお酒を飲まない方は、車でお越しただけのよう、今年は駐車スペースも広く確保している。出来れば2部の方に送迎バスをお使い頂ければありがたいと思っている。

<谷川委員> お酒が好きなのでぜひ参加できればと思っている。

もう一つ、資料の8ページのコミュニティモデル事業だが、継続して行われている事業は該当しないということだが、地震で行われてない事業を復活させたいと思っているが、それには該当するか。

<総務企画課長> 具体的に話していかないとわからないが、地域には担当職員もいるの

で、どうやって盛り上げていくかを担当職員と一緒に考えていきたい。

<今井会長> 他に何か御自由に発言していただきたい。

<高智穂委員> 子育て支援応援マップが、少しリニューアルされるということだが、これは紙としてマップにされるのか。更新をするたびに紙ですということであれば、その都度、予算がかかるのではないか。更新を継続しやすい方法だとまた変わってくるのではと思う。

<保健子ども課長> 配布となると紙という形になるが、基本的にホームページを活用した情報発信を考えており、業務委託も少し検討している。内容も含めたうえでどのように発信していくかを検討していきたい。

<谷川委員> イベントで人を集めることは大事なことだと思うが、河内のオレンジウォークでは半日で参加メ切になる、ホテルまつりでは 1500 人くらい集まってくれるのだが、この人たちがどれだけ繋がるのか疑問だ。それと対して、オレンジカクテルナイトは本当に芳野をどうにかしたいという思いから先生たちが始められ、本当の芳野のファンを作っていくようなイベントだと思う。人の集め方は、いっきに大勢を集めるのも大事だが、ほんとうに西区を愛してくれる人を大勢作ってほしいと思う。いつも通ってくれば、人口も増えるのではないか。ファンを作っていくイベントをみんなで考えていければと思う。

<今井会長> 河内にあるものを使ってファンを増やすこととして何かお考えをお持ちか。

<谷川委員> オレンジウォークの中でみかん狩りも楽しかったで終わり。次に繋がっていけるようなことができないか・・・生産者が忙しくて参加できないのでどうしたらいいのかなと思っている。今、漁業の人の雇用がとても難しい。先日福岡まで雇用の話し合いに行ったが、年間で雇用したいけど「住むところありますか？」という話になり、空き家の活用ができないかという話になった。自治会長さんと一緒に空き家を見に行ったが、仏壇が置いてある等、整理がされていない現状。できれば行政の方で、何とかしていただきたい。これからは、海外からの研修生も増えるので、ぜひ空き家の活用もしていきたい。

<今井会長> 資料の 10 ページになるが、崇城大学の SIN (ソーシャルイノベーションネットワーク) というサークルがある。いくつかの活動をやっているが、その中で建築学科の生徒を中心にリノベーションに興味がある子達が、甲佐町の方で行われているリノベーションのワークショップに勉強に行き、そこで学んできた知識と技術を使って西区の方でやりたいと思っている。行政の方で間に入っていただきながら大学と連携してやるということがあれば、空き家の利活用というのは進んでいく可能性があると思われる。

<小林副会長> 空き家はどれ位あるのか？

<谷川委員> 正確に把握していないが数十件といえないくらいある。

<小林副会長> 私の知り合いが愛媛出身で、みかんと海が見えるところに住みたいと言われ、地域の人を紹介して、今その方は、河内に住んでる。

<谷川委員> 空き家があるけど、どうしようもない。時間が経つと手が付けられなくなるので、早いうちにどうにかして有効活用ができないだろうか。

<今井会長> 他何かないでしょうか。

<山内委員> 7 ページ、①自主自立のまちづくりについてだが、春日・古町・白坪の3校区で毎年日本一小さな花火大会をやろうと、今回3度目になる。現在、花火は庭先や公園でもできない、花火さえ買えない状況。火の温かさや怖さも知った方がよいのではということで始めたのがこの花火大会。子どもたちは花火をすると喜び。ちょっと肌寒い時期でとても気持ちがよく、今年は企業にも声掛けをして行いたいと思っている。

<今井会長> 各校区でもこのような取り組みがあればご紹介いただければと思う。

<木戸委員> 地辺寺を活用したイベントがいくつかある。JR ウォーク大会は、みんながボランティアで焼肉やネーブルを提供し、皆さんが喜んで帰られるが、収益はいっさいない。今年は大学と連携して、焼肉のたれや甘酒を作る予定。

<今井会長> 一過性で終わらないようにするのが、これからの課題になっていくので、アイデアを出し合いながらやっていければ、これからもっと発展していくのではと思う。

河田委員、何かないか。

<河田委員> 小島は、農産物と海関係になるので、時期があり、海苔は11月から3月位、農産物は、夏場になると切れる時期が出てくる。区役所の隣の交流センターで運営に携り、地域の物産の販売を行っているが、お客さんの要望も聞きながら、周りと連携し行っていきたい。今回から、委員になり、校区のことはわかるが他の校区でやってこられたことなどアイデア・情報ももらいながら、皆さんと一緒に懇話会を進めていけたらと思っている。

<今井会長> 農業の話がでたが、清田委員、西委員何かないか。

<清田委員> 今、城山校区に新しい家が建っているが、ほとんど緑がない。家に帰っても癒しがあるのだろうかと思う。城山校区にはまだ農地がある。担い手不足で農地が空いているのでそれを活用して緑の提案。家庭菜園でもいいし、神社の祭りの田植えや稲刈りを一緒になってやっていければ城山校区も活性化するのではないかと思う。20年ぐらい前であれば庭を作ったりしていたが、今は駐車スペースの確保が第一でほとんどの家には木がない。そういった方々に提案していきたい。今年から自治会と一緒に野菜作りをして、元気が出るまちづくりの一步を踏み出していこうと思っている。

<今井会長> 私も東京に住んでいたが、東京だとビルの屋上で農地を間借りして家庭菜園を楽しむくらいなので、やりたい方がいて土地があれば楽しくできるのではないかな。そういう取り組みをやっているということを知ってもらうことが一番大事でうまくいけばニーズあるのではないだろうかと感じた。

<西委員> 西区で農業を行っている。農地はあるがやっている人が減っている。10数年すれば後継者不足になり使わない農地もでてくる。20年前はすべて畑であった所が、今では家が建ち、どんどん緑がなくなっている。だが契約をしている保育園や小学校では農業体験をおこなっている。小学校は、田植え・稲刈りを体験、保育園は保護者と一緒にトマトの収穫を体験している。最初は、10数組、30名弱だったが、この前は希望者が多く子ども達だけで保護者は参加できない状態だった。農家の人は、自分の技術ややり方をあまり広めない傾向があるので、周りに宣伝するのが下手、自治体と協力して農地の使い方を考えていけたらと思う。

<今井会長> 農業もいろいろな問題をかかえているので、ここでいろんなアイデアを出し合うことによりすこしは良い方向に解決できればと思う。そのためにはちょっと離れた視点が大事になってくると思うので、公募で来ていただいている日下部委員何かないか。

<日下部委員> いろいろなイベントが行われていることを初めて知りびっくりした。私が知らないということは、他の一般の方も知らない方がたくさんいらっしゃると思うので、もったいないなと思った。これから周知することが大事だと思った。私も微力だがこういったことを広げていけたらと思う。

<今井会長> 例えば、普通に暮らしている中で、周りの方も含めてどういう媒体だったらこういう活動を知ることになるか。一番目に入るのは何か。

<日下部委員> 私はあまりネット環境がないので、紙媒体でしか知ることがなく、市政だよりはしっかり読む、フリーペーパー（リビング、すぱいす等）は結構見るので、載っていれば目にする。

<今井会長> ネットもわざわざ探しに行かないと情報にはたどり着かないところがある。それに比べフリーペーパーであれば、ポストに入っているの、何気なく読むところがある。どうやったら情報が市民に届くのかということも含めてこれからの活動を考えていく必要があると感じている。観光という視点からコメントいただければと思う。こういった取り組みに関して、集客はあるがなかなか続かない。一過性に終わっているところを何か工夫してやっていけるアイデア等あればご紹介していただければと思う。

<西村委員> 木戸委員が言われていた、イベントをして集客はあるが、そこにお金はおとしてもらえず、繋がっている感覚がない。次の策として焼肉のたれや甘酒を作られるというのはいい取り組みだと思う。旬のものを販売しても商品が切れたりするのでそれを加工品にして商品化し、まずは食べていただき、美味しさを知っていただく。その後お土産として加工品を買っていただく。収入があり経済を回していかないといけない。

焼き肉のたれと甘酒はぜひ実施していただきたい。

<木戸委員> 自分のところだけするのは無理なので、業者に協力してもらいながらすすめている。

<西村委員> 販売ルートとかはありますか。

<木戸委員> 業者に頼んでるので、そこを通して売ってもらおうと思う。結果が良ければ広げていくと思う。区役所にお世話になって、まちづくりの予算の中で行っている。

<小林副会長> 芳野で廃棄や摘果したみかんを使ってジャム作りたいと相談すると、それが得意な女性たちとパティシエがおられた。大学生も募り、作ったら上手くいき、吉野の梅ジャムも作った。オレンジカクテルナイトで無償でふるまった。アンケートに販売する提案があった。4~500円でも芳野にお金が落ちるので、今年は去年の倍作って実際に販売する。芳野に来た人がなっているみかんや梨を食べたいと思っても、観光農園をやっていない時にそれができない。そこで大学が、実際にカフェで販売してみようと思っている。毎年、大学祭の時に頂いたみかんを販売して、すごい勢いで売れる。1月にオレンジカクテルナイトの報告会と称して新年会をやるときの飲食代にあてている。十分潤うようなお金が入るので、捨てるものがお金になる。私達が回す循環の役をやれないかというのが5年も続いている理由かなと思っている。

<今井会長> パワーポイント資料のまちづくり推進方針①~④までありますが、①~③というのは基本的に連動している。いくら地域の宝があったとしてもそれを生かすためには産学官民の連携を深めていくことが大事だと感じた。そういう方向性を持ちながら各地区、校区の宝を生かしていくようなプロジェクトがここから生まれていくといいと思った。最後になったが、結局のところ先程の日下部委員の話にもあったが広報をどうするかということだが豊田委員の方からメディア関係ということで、いかに地域の宝やイベントを広報していくかということについて何かお考えをお聞かせいただければと思う。

<豊田委員> 森都心プラザ2階のイベントスペースでいろんな観光情報を発信している。たとえば西区フェスタの時は、西区の小中学生の写真コンテストを展示した。普段から西区ならではのものを紹介させていただいている。イベントだと興味のある人しか来ないが、駅前で交通アクセスもいいし、通りがかりの人も来るし、立ち寄った人にPRしていけるような取り組みができればと思う。

<今井会長> そういったことで周知できる。知ってもらえないと足を運んでももらえないし、足を運んでももらえないと魅力にも気づいてもらえない、まずは知ってもらうことからスタートだなと思った。最後に、全体として、今日議題にもあった、まちづくり推進、健康まちづくり事業について改めてご意見ご質問等ないか。

<浦本委員> 地域の特色や物産も城西にはないのでいいなあと思って話を聞いていた。水と緑とホテルの百公園が城西にはある。歴史のある所。そういったところに西区のい

ろんなものを持ち寄ってそこに人を呼ぶ。歴史ある所なので観光客はこられるが何もないので、そういったところでイベントをしていただけるとうれしい。

区長さんをお願いだが、城めぐりんがあるが、そういった観光めぐりんのバスを西区にもつくっていただきたい。予算的に難しいと思うがぜひよろしく。

<山内委員> 8月10日、第16回春日ぼうぶらまつりを開催。16年前3つの町内がなくなるような土地開発があり、春日の中に何か祭りをして同窓会的な事が出来ないかと始めた。最初は予算もなかったが、現在は校区の企業140社の協力で行っている。何もないところから始めるのは大変だが、経験することがいかに大事かと言うことを身をもって経験した。すべてボランティアで2500~3000人のお客が来られる。皆様も是非来て欲しい。

(8) 閉会